

準 グランプリ

株式会社西原商事ホールディングス（廃棄物処理業） / 福岡県北九州市



【企業概要】URL : <https://www.nishihara-corp.jp>

資本金 : 5,000万円

従業員数 : 28名 (グループ会社全体 : 204名)

代表者 : 代表取締役社長 西原靖博

【事業概要】

廃棄物収集運搬、リサイクル、システム開発・提供

【企業理念】

廃棄物・リサイクル事業を通じて広く社会に期待される企業

取組概要

DX推進による成果

【DXに取り組むきっかけ】

- ・ 廃棄物処理法に基づいた処理工程のトレーサビリティの徹底が求められる中、情報の集約化が不可欠となり、**2007年に廃棄物管理システムの自社開発をスタートし、現在に至る。**
- ・ **結果的に、DXという言葉が普及する以前からデジタル化への移行を始めていた。**

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- ・ 多様化する社会課題を抱える企業を支援するため、**環境分野において企業と企業が壁を乗り越え協調する『非競争領域の最適化』の仕組みを構築し、デジタルの活用によって環境と経済の良好なバランスを図り、企業の成長を支援する。**

【DXを推進するための戦略】

- ・ 自社及び同業界のDXを推進する為のスキームの構築及び、システムやアプリの開発・運用・外販。

【組織づくり・人材確保の取組み】【デジタル技術活用の取組】

- ・ 既存社員へ新たな知識の習得の機会をつくり、DX・GX・SX人材の育成。
- ・ 訴求力・発信力のあるデザインを制作できる人材の新規採用や学生ビジコン開催による新卒の獲得。

【DX推進に向けたガバナンスシステム】

- ・ 経営者自ら全社員に向け毎年1月に課題共有及び成長戦略の説明、及び社内報等で定期的な情報発信。
- ・ CISO(情報セキュリティ管理責任者)を配置して情報セキュリティ対策、リテラシー教育を行い、経営層へ定期報告。

【成果】

- ・ 社内業務のDXにより削減された時間を、人材育成や新たな利益創出のための時間に割り当てることが出来た。
- ・ **廃棄物処理の業界全体のDXに繋がっている。**

廃棄物一元管理
bee-netの
受注件数
(2010年)

600事業場

DX
推
進

廃棄物一元管理
bee-netの
受注件数
(2024年)

7000事業場

獲得数11倍

わが社のDXのポイント

【DXを進める上での苦労や行った工夫】

- ・ 属人業務、部署内・外で重複する作業等の洗い出し。
- ➔専属に配置したDXプロジェクトマネージャーによるヒアリングの実施。
- ・ システムやアプリケーションの操作に不慣れな社員(ドライバーや工場作業員)への教育。
- ➔**直感的に操作できるUI/UXの充実、使用感アンケートを繰り返し実施。**

【DXを進めたことによる具体的な変化】

- ・ 排出事業者(企業)向けの廃棄物一元管理システム『bee-net』の普及により、企業担当者による廃棄物情報へのアクセスを簡便化し、法令遵守の運用支援とともに、廃棄物削減やリサイクル率向上等の**環境負荷低減**も実現。
- ➔**小売業を中心に全国7,000事業場の情報管理を経て、全国3,000社を超える同業他社とのネットワークを構築。**
- ・ 廃棄物処理業者向けのアプリケーション『ビートルアシスト』の開発により、ドライバーがスマートフォンからアプリへ入力したデータと、『bee-net』を連携させたことにより、従来ドライバーが持ち帰る伝票を事務員が入力していた作業工程の削減と効率化を実現。
- ➔**2022年6月より自社内で47名による運用を開始、97%のドライバーが働きやすさが向上したというアンケート結果が出ている。**
- ・ 廃棄物処理業者が『ビートルアシスト』を導入することにより、バックオフィスの支援機能としての役割を担っている。
- ➔**2023年度内に同業他社3社へ導入済。廃棄物処理業界のデジタル推進に資するため、順次拡大中。**

【DXへの取組み時を振り返って】

- ・ 社内で運用を重ね、検証することで、新たな課題が生まれてくる。
- ・ その課題をクリアするために改修を繰り返したことが、取組みにおいて一番労力がかかったが結果的には効果が高いものと感じる。

【これからDXに取り組もうとする企業へのメッセージ】

- ・ 自社開発しているシステム、アプリケーションは**若手社員の柔軟なアイデア**から生まれている。
- ・ このデジタルネイティブ世代の着目点を、中堅社員いわゆるリベラルな価値観を持つミレニウム世代が拾い上げ、**実現に繋げるための社内調整や、部署・人材を横断的に配置・連携させることが出来るかが重要**といえる。

	事業者	業種	本社所在地
グランプリ (1社)			
1	浜松倉庫株式会社	倉庫業	静岡県浜松市
準グランプリ (4社)			
1	株式会社ノリノメタル	金属加工業	埼玉県八潮市
2	株式会社トーシンパートナーズホールディングス	不動産業	東京都武蔵野市
3	株式会社西原商事ホールディングス	廃棄物処理業	福岡県北九州市
4	山口産業株式会社	製造業	佐賀県多久市

優良事例 (27社)

1	株式会社高山	DX支援・サイバーセキュリティ対策	宮城県塩釜市	15	株式会社ヤマサ	製造業・卸売業	長野県松本市
2	株式会社ASAHI Accounting Robot研究所	情報・通信業	山形県山形市	16	協和工業株式会社	製造業	愛知県大府市
3	株式会社高梨製作所	製造業	山形県河北町	17	三共電機株式会社	製造業	愛知県稲沢市
4	福島コンピューターシステム株式会社	ソフトウェア業	福島県郡山市	18	I Xホールディングス株式会社	持株会社	三重県伊勢市
5	有限会社永井製作所	製造業	群馬県邑楽町	19	有限会社あびや	飲食・小売サービス業	三重県伊勢市
6	田島石油株式会社	ガス・エネルギー業	埼玉県狭山市	20	株式会社コムデック	情報通信業	三重県伊勢市
7	鶴見製紙株式会社	製造業	埼玉県川口市	21	東邦電気産業株式会社	建築設備の設計・施工	京都府京都市
8	株式会社ヒカリシステム	サービス業	千葉県千葉市	22	日本ツクリダス株式会社	金属加工業	大阪府堺市
9	旭工業株式会社	精密板金業	東京都荒川区	23	株式会社ミヨシテック	建築業	大阪府寝屋川市
10	株式会社ダブルスタンダード	情報・通信業	東京都港区	24	株式会社エヌエヌケーケー	情報通信業	兵庫県神戸市
11	株式会社NISSYO	製造業	東京都羽村市	25	オカネツ工業株式会社	産業機械、農業機械製造業	岡山県岡山市
12	武州工業株式会社	製造業	東京都青梅市	26	株式会社広島メタルワーク	精密板金加工、ステンレス加工、アルミ加工業	広島県広島市
13	Jマテ. カッパープロダクツ株式会社	製造業	新潟県上越市	27	福岡運輸株式会社	運輸業	福岡県福岡市
14	正田産業株式会社	工業製品卸売商社	石川県金沢市				

経済産業省 DX推進施策資料より

企業DX推進施策の全体像

